

SHO-BOND

SHO-BOND CORPORATION

シーリング材

シリコーン系シーリング材

ショーボンド

シリコーン

#70 ノンサグタイプ



橋梁・高架橋の伸縮目地、分離帯目地充てん
歩道用タイル・コンクリート舗装目地充てん
滑走路エプロン・護岸コンクリート目地充てん
水利構造物の回廊・管路・上水道関係構造物の
目地、ひび割れ充てん

ショーボンドシリコーンは、耐候性にきわめて優れた
2成分形のシリコーン系シーリング材です。

ウレタン系、ポリサルファイド系シーリング材に比べ、
耐熱・耐寒・耐水・耐疲労性能は、抜群に安定しています。

シリコーン#70は、JIS A 5758耐久性区分10030
の相当品です。

ショーボンドマテリアル株式会社

使用方法

- ① ショーボンドシリコーンは、主剤、カラーマスター、硬化剤のセットになっており、使用時に混ぜ合わせます。
- ② 主剤、カラーマスター、硬化剤の配合は、93：7：3の重量比です。カラーマスターを必ず加えてご使用ください。
- ③ 計量した主剤、カラーマスター、硬化剤は、主剤缶または液状用ドラム(万能攪拌機付属品)内で、金ベラや万能攪拌機で十分に混合してください。
- ④ 混合すると徐々に硬化を始めます。可使時間(表参照)を確認の上、時間内に使い終る量を混合してください。

施工法

① 表面処理

充分なシーリング効果をあげるため、施工前に必ず目地部の表面処理を行ってください。

- A. 目地両側面のレイタンス、汚れ、油脂分などをサンダー、ワイヤブラシ、シンナーを含ませたウエスなどで取り除きます。
- B. 目地部が濡れている場合は、プロパンバーナー、電気ドライヤーなどで乾燥させます。
- C. 新しいコンクリートの場合は、10日以上養生してください。

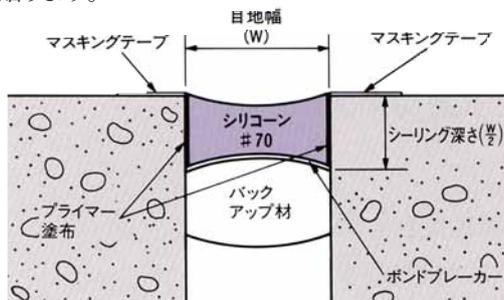
② バックアップ材の挿入

バックアップ材(発泡ポリウレタン、発泡ポリエチレンなど)を適正なシーリング寸法(目地幅：シーリング深さ=2:1)に合わせ挿入設置します。

- ※目地幅が10mm以下の場合は同寸法の深さが目安となります。
- ※目地幅が60mm以上の場合はシーリング深さを最大30mmとしてください。
- ※バックアップ材の材質によって、ボンドブレイカーが必要となる場合があります。

③ マスキングテープ貼り

目地周辺の汚れを防ぐため、目地の縁にマスキングテープを貼ります。



④ プライマーの塗布

被着体との接着を向上させるため、シリコーンプライマーをハケ塗ります。被着体の材質により、次の二種類のプライマー(1成分形・溶剤型)を使い分けます。

被着体の材質	適用プライマー名	標準使用量	オープンタイム	荷姿
コンクリート* モルタル 石材	シリコーン プライマーC	0.2kg/m ²	60分以上(20℃) ~80分以上(5℃)	290g 缶入り
金属、ガラス プラスチック類	シリコーン プライマーM	0.02kg/m ²	20分以上(20℃) ~60分以上(5℃)	270g 缶入り

*水利構造物など湿潤状態の場合は、ネオプライマーを最初に塗布し、指触乾燥後シリコーンプライマーMを塗布します。

⑤ 充てん

コーキングガンで目地に充てんします。

⑥ 仕上げ、マスキングテープ除去

充てん後、すみやかにヘラで仕上げながら、表面の凹凸をなくします。仕上げ完了後、ただちにマスキングテープを除去し、養生します。

・外観性状

黒色またはグレー/グリース状

・可使時間

温度(℃)	5	10	20	30
可使時間(時間)	10	4	2	1

・荷 姿

4リットルセット

(主剤/4.85kg カラーマスター/346g 硬化剤/156g)

社内規格値

試験項目	試験方法	単位	社内規格値
比重(硬化物)	JIS K 7112	—	1.30±0.10
タックフリー	JIS A 5758	時間	24以内
硬 さ	JIS K 6253	Hs	10以上
最大引張応力	JIS A 5758	N/mm ²	0.3以上
伸 び	JIS A 5758	%	800以上
50%引張応力	JIS A 5758	N/mm ²	0.15±0.05

■備考：試験条件は20℃測定、(20℃、7日間)+(50℃、7日間)養生です。

ショーボンドマテリアル株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-10 TEL.049(225)5611(代表)

<http://www.sb-material.co.jp>

●取扱い営業所